

積乱雲

第41号(2016・7)

●編集・発行

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

鹿児島市卸本町8-20

TEL 099-268-9711

南国真夏の入道雲 JOCVのバイタリティー

(題字・初代会長 石神 兼文)

平成28年度通常総会を開催

平成28年6月21日、かごしま県民交流センターにおいて、平成28年度通常総会が会員多数出席の下開催されました。

衛藤威臣会長の開会挨拶後、来賓として鹿児島県国際交流課、富吉宏治課長補佐およびJICA九州植村吏香次長より祝辞を頂き、会長を議長に審議に入りました。

事務局より平成27年度活動報告として、帰国隊員の進路支援や鹿児島県青少年国際協力体験事業のカンボジア派遣、県下小中学校での「協力隊OBと留学生が先生」事業、国際協力講演会及びJICAボランティア留守家族連絡会等の実施報告がありました。

また、昨年度は青年海外協力隊発足50周年記念事業として、記念式典および講演会など多くの関連行事が催されました。それらの活動に基づいた27年度決算報告、そして監事より会計検査報告の後、27年度活動報告並びに決算報告が承認されました。引続き28年度事業計画及び予算の説明が行われ原案通りに承認されました。

会の後半では、青年海外協力隊平成25年度4次隊・フィリピン・観光 後藤まどか氏による帰国隊員報告会も行われました。後藤さんの持つ、人と人とを繋ぐ力を十分に発揮した活動の内容は大変すばらしく、多くの来場者の方から賞賛をうけ、その後の質疑応答も質問を途中でお断りせねばならないほど大いに盛り上がった帰国報告でした。



平成28年度通常総会



後藤隊員による帰国報告会

総会終了後にはJICAボランティア平成28年度1次隊の壮行会が開催されました。

青年海外協力隊・シニアボランティア・日系社会青年ボランティアおよび日系シニアボランティアの5名が訓練所で学んだ現地語で自己紹介をし、任地での抱負を語りました。出席者からは温かいスピーチを頂き、出発隊員を激励しました。



平成28年度1次隊壮行会



平成28年度1次隊壮行会記念

第1号議案 平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 帰国隊員への進路支援

- a) 今年度の帰国隊員は14名。進路状況は、現職復帰4名、民間企業・団体4名、教員講師3名、未決定者・未確認者3名
- b) 鹿児島県教育委員会等に帰国隊員特別枠・優遇制度採用等の要請
 - ・鹿児島県小学校教員に1名採用。
- c) 鹿児島県及び自治体訪問による帰国隊員採用のお願い
 - ・鹿児島県庁、鹿児島市役所、薩摩川内市役所、日置市役所、いちき串木野市役所、志布志市役所を訪問
- d) グローバル人材と民間連携の推進
 - ・鹿児島県経営者協会の例会にて協力隊事業・民間連携について説明
 - ・下堂園、瀏上印刷、インフラテック、南日本新聞社に事業の説明
 - ・鹿児島県工業倶楽部、JETRO 鹿児島、かごしま産業支援センター
- e) 進路相談カウンセラー、JICA九州、協力隊事務局との連携による情報の収集と提供
- f) 求人・進学など進路に関する情報の収集と提供
- g) 本会会員企業・団体、帰国隊員勤務先等よりの情報の収集と提供
 - ・会員企業南日本新聞社に1名記者として就職。
 - ・帰国隊員就職先浪漫より求人
- h) 帰国隊員知事表敬同行 年4回出発、計11名が表敬
平成27年6月24日、9月18日、12月18日、平成28年3月15日

2. 現職派遣の推進

- a) 現職派遣条例制定済自治体(22自治体)訪問と制度広報のお願い
 - ・訪問先 ー鹿児島県、鹿児島市、いちき串木野市、薩摩川内市
- b) 県教育委員会に「教員特別参加制度」での推薦者増のお願い
- d) 民間企業・団体への現職派遣制度広報及び活用の呼びかけ
- e) 募集説明会の参集者に対し現職派遣制度広報とアドバイス
 - ・鹿児島市で開催の募集説明会に4回出席。制度説明と進路相談を行なった。
- e) 現職参加制度活用希望企業・団体および相談者への対応

3. 協力隊事業の広報並びに国際性豊かな青少年の育成

- a) 「協力隊OBと留学生が先生」教育プログラムの実施(別紙参照)
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会との共催)
県下各地の小中校で42回実施。対象児童生徒2190名、派遣OB42名、留学生25名
- b) 第24回鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会との共催)
 - ・派遣地 ーカンボジア(プノンペン、カンダール州)
 - ・期間 ー平成27年7月19日～7月26日(7泊8日)
 - ・派遣人数 ー16名(中学生5名、高校生11名)、同行者6名(内マスクミ2名)
 - ・事前研修 ー1回目ー6月7日、2回目ー6月27～8日(1泊2日)
 - ・内容 ーカンダール州タクマウ市でのホームステイ(4泊)、
2か所の協力隊員活動訪問・体験及び懇談、
地元学生・村民との交流

- ・共 催 — 鹿児島市、鹿屋市、霧島市、枕崎市、南九州市、南さつま市、いちき串木野市
- ・協賛企業 — 鹿児島銀行、鹿児島トヨタ自動車、鹿児島空港ビルディング、鹿児島ヨコハマタイヤ、キンコー醤油、小正醸造、薩摩酒造、下堂園、太陽運輸倉庫、南国殖産、MISUMI、山形屋、弓場貿易、レイメイ藤井
- ・活動報告 — 8月22日報告会開催、新聞・テレビでの報道、報告書作成・配布

c) 国際協力講演会開催

(青年海外協力隊鹿児島県OB会、鹿児島市国際交流財団との共催)

- ・開催日 — 平成28年3月27日
- ・場所 — かごしま市民福祉プラザ
- ・内容 — ①帰国隊員報告 坂元絵里 (保健師・ボリビア)
②講演会
講師 ニア ライト (女性のための平和親善大使)
③パネルディスカッション
桑山 大 (体育・モンゴル)
永野田 彩 (理数科教師・エルサルバドル)
ニア ライト、酒井祐輔 (鹿児島大学)

・参集者 — 121名

d) ボランティア事業 (青年海外協力隊、日系社会ボランティア、シニアボランティア、日系シニアボランティア) 募集説明会出席。

青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア () は昨年実績

開催時期	実施回数	参集者	応募者	合格者
春募集	2回	37 (60) 名	16 (20) 名	7名
秋募集	2回	32 (36) 名	13 (23) 名	3名

シニアボランティア・日系シニアボランティア

開催時期	実施回数	参集者	応募者	合格者
春募集	1回	32 (15) 名	3 (0) 名	0名
秋募集	1回	17 (23) 名	3 (5) 名	2名

e) ボランティア事業 (協力隊、シニア) 養成講座 10月24～25日 KAPIC

f) ホームページの<http://www.kagojocv.net> の運営

4. 派遣協力隊員、シニアボランティア、日系社会青年ボランティアへの支援

- a) 月刊誌「グラフかごしま」・「かごしまナウ」の送付
- b) 壮行会の開催 — 平成27年6月24日、9月18日、12月18日、3月15日
- c) ボランティア家族連絡会の開催 (JICA九州、協力隊OB会との共催)
 - ・開催日 — 平成28年1月30日
 - ・場所 — かごしま市民福祉プラザ
 - ・内容 — 協力隊事業の現況、帰国後の進路、派遣中隊員からの報告
帰国隊員と家族の懇談
 - ・出席者 — 6家族8名、帰国隊員・関係者12名
- d) 知事表敬同行 — 平成27年6月24日、9月18日、12月18日、3月15日

5. 組織強化及び会員サービス

- a) 月刊誌「クロスロード」の送付
- b) 会報「積乱雲」年2回発行と会員及び派遣中隊員への送付
- c) 留守家族対象の「視察の旅」への協力、情報提供
- d) 出発隊員家族・留守家族・民間企業・個人に加入の呼びかけ
- e) 会員への情報提供及び平成28年協力隊カレンダーの送付
- f) 会員状況 平成28年3月31日現在

	会 員 数	対前年比	口数	対前年比
地方自治体	30	増減なし	47口	増減なし
団体・企業	46	増減なし	59口	増減なし
個人	63	増減なし	65口	増減なし
合計	139	増減なし	171口	増減なし

6. 国際協力支援及び広報活動

- a) 5月「吹上浜砂の祭典2015」、10月「かごしまアジア芸術祭」、11月「薩摩川内港ポートフェア」、2月「川辺二日市」、2月「鹿児島神宮初午祭」協力隊ブース設置への協力
- b) 南日本新聞社（ボランティア便り掲載）、KKK、MBC、KTS、ラジオへの協力
- c) 講師派遣 — 県環黄海青少年事業研修、かごしまこども塾（高校生）、県産業振興会「グローバル人材」、環境創出セミナー、県経営者協会例会、県広報番組出演、広報誌掲載

7. 各種機関・団体との連携

- a) 青年海外協力隊鹿児島県OB会との連携
- b) (公財)鹿児島県国際交流協会主催イベントへの参加・協力
- c) (公財)鹿児島市国際交流財団主催イベントへの参加・協力
- d) かごしまアジア青少年芸術祭への参加・協力
- e) 国際協力機構 JICA イベントへの参加・協力
- f) 鹿児島県留学生推進協議会への出席・協力

8. 会議開催及び行事参加

- a) 通常総会 — 平成27年6月24日
- b) 理事会 — 平成27年6月24、12月18日
- c) 各種関係機関・団体会議、行事への参加
- d) 一般社団法人協力隊を育てる会全国代表者会への出席

9. 協力隊発足50周年記念事業の実施

- ①講演会・パネルトーク・記念式典・交流パーティー 出席者 189名
日時：平成27年8月27日 場所：鹿児島東急 REI ホテル
 - a) 講師 — 伊藤聡子（フリーキャスター）「私が見た国際協力の現場」
 - b) パネルトーク — 新旧帰国隊員、協力隊事務局、伊藤聡子 MC
 - c) 記念式典 — JICA 堂道副理事長、佐々木副知事、田畑県市長会副会長他
 - d) 交流パーティー
- ②記念文集の発行 — 500部発行
- ③国際協力パネル展開催
日時：平成27年8月13-17日 場所：イオンモール
- ④記念広告 「世界を、自分を変える一歩」
日時：平成28年3月29日 掲載：南日本新聞一面カラー

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会会報

平成27年度事業実績

(敬省略)

教育事務所等	市町村名	学校名	対象学年	参加人数	派遣日	講師 (JICA OBは派遣国, 外国人講師は出身国を〔 〕内に記載)	
						OB	外国人
鹿児島市 教育委員会	鹿児島市	キイレ 喜入中学校	全	301	6月11日	本田 隆一〔トンガ〕	*熊 華磊〔中国〕
		スズヤマ 錫山中学校	全	12	2月13日	近森 章〔ラオス〕	*レ ティ イェン〔ベトナム〕
		コウトクジ 皇徳寺小学校	6	90	2月23日	木原 和代〔パラグアイ〕	—
		カワカミ 川上小学校	6	89	2月13日	本田 隆一〔トンガ〕	ブントク ファーデー〔シリア〕
		ナカゴオリ 中郡小学校	3	60	10月28日	木原 和代〔パラグアイ〕	*刘 倩〔中国〕
		イシキ 伊敷小学校	6	81	2月13日	福永 みゆき〔ブラジル〕	—
		ミヤ 宮小学校	5・6	19	1月28日	川野 さつき〔モロッコ〕	—
鹿児島	いちき串木野市	ホンミヨウ 本名小学校	6	39	2月16日	貴島 三実〔コスタリカ〕	—
		セイフク 生福小学校	4～6	62	11月25日	木原 和代〔パラグアイ〕	—
		アラカフ 荒川小学校	3～6	20	10月16日	川野 さつき〔モロッコ〕	*何 悦〔中国〕
南薩	南九州市	オオマル 大丸小学校	全	16	7月2日	末原 貴子〔ニジェール〕	*李 瑶〔中国〕
北薩	薩摩川内市	ミナヤマ 峰山小学校	全	35	11月25日	近森 章〔ラオス〕	*李 路〔中国〕
	さつま町	グミョウ 求名小学校	1～6	50	10月27日	近森 章〔ラオス〕	二宮 ロザリダ〔フィリピン〕
	出水市	エウチ 江内中学校	全	57	10月19日	塚田 拓〔コスタリカ〕	ブントク ファーデー〔シリア〕
	阿久根市	オリタ 折多小学校	5・6	36	11月27日	吉井 健一郎〔セネガル〕	—
	薩摩川内市	クロキ 黒木小学校	全	31	10月10日	徳峰 啓太〔ネパール〕	—
	出水市	コメノツヒガシ 米ノ津東小学校	6	63	10月30日	本田 隆一〔トンガ〕	—
	さつま町	ヤマサキ 山崎小学校	3～6	53	1月28日	貴島 三実〔コスタリカ〕	—
始良・伊佐	伊佐市	オオクテヒガシ 大口東小学校	全	60	1月22日	永山 俊介〔中国〕	*申 吉峰〔中国〕
	霧島市	サンタイ 三体小学校	全	18	9月28日	濱田 孝子〔キルギス〕	*アデカリ ミン〔ネパール〕
	霧島市	タカゼ 竹子小学校	全	44	1月15日	上川路 博文〔ペルー〕	*周 向荣〔中国〕
	伊佐市	タナカ 田中小学校	4～6	54	10月15日	桑山 昌洋〔ボツワナ〕	*周 倩〔中国〕
	湧水町	ヨシマツ 吉松中学校	1～3	85	2月16日	永山 俊介〔中国〕	ブントク ファーデー〔シリア〕
	霧島市	ヨコガワ 横川小学校	5・6	48	6月19日	桑山 昌洋〔ボツワナ〕	*韓 艶麗〔中国(内モンゴル)〕
	始良市	ミフネ 三船小学校	5・6	35	2月12日	上川路 博文〔ペルー〕	*崔 智香〔韓国〕
大隅	垂水市	タルミス 垂水小学校	6	64	11月25日	上川路 博文〔ペルー〕	*韓 艶麗〔中国(内モンゴル)〕
	曾於市	フカガフ 深川小学校	3～6	31	10月21日	大久保 由夏〔トンガ〕	下 秀樹〔パラグアイ〕他1名
	曾於市	タカラベキタ 財部北小学校	全	15	6月12日	塚田 拓〔コスタリカ〕	滕 詩佩〔中国〕
	東串良町	ヒガシクシラ 東串良中学校	3	59	12月17日	瀬角 龍博〔カーナ〕	—
	鹿屋市	ニシハラ 西原小学校	6	89	11月25日	瀬角 龍博〔カーナ〕	—
	志布志市	アリアゲ 有明小学校	6	20	2月24日	貴島 三実〔コスタリカ〕	—
	南大隅町	ネジメ 根占中学校	2	39	12月4日	瀬角 龍博〔カーナ〕	*陳 宇龍〔中国〕
	曾於市	オオスミキタ 大隅北小学校	3～6	24	10月21日	大久保 由夏〔トンガ〕	馬 亜琴〔中国〕
	曾於市	ツキノ 月野小学校	全	42	2月13日	塚田 拓〔コスタリカ〕	*モハマド カムルール ハサンカン〔ハンガリー〕
熊本	西之表市	フルタ 古田小学校	全	23	1月23日	下平 健太〔マーシャル〕	二宮 ロザリダ〔フィリピン〕
	屋久島町	カミヤマ 神山小学校	5・6	34	1月22日	塚田 拓〔コスタリカ〕	—
大島	奄美市	ナセ 名瀬小学校	5	74	7月11日	向田 めぐみ〔ブータン〕	—
	宇検村	クシ 久志小中学校	全	8	12月12日	向田 めぐみ〔ブータン〕	—
	宇検村	クケン 田検中学校	全	35	12月18日	向田 めぐみ〔ブータン〕	—
	伊仙町	オモナフ 面縄小学校	6	10	2月24日	桑山 昌洋〔ボツワナ〕	—
	天城町	アマギ 天城小学校	4～6	55	2月25日	桑山 昌洋〔ボツワナ〕	—
	23市町村	42校		2190		のべ42名(実数18名)	のべ25名(実数20名)

*がついている外国人講師・・・留学生(のべ16名) 鹿大・第一工大・鹿屋体大

第2号議案 平成27年度収支決算

(平成27年 4月 1日 - 平成28年 3月31日)

< 収入 >

(単位円)

項 目	予 算(A)	決 算(B)	増 減(B-A)	適 要
会 費	1,400,000	1,390,000	-10,000	法人会員107口×10,000 個人会員64口×5,000
助 成 金	80,000	80,000	0	(社)協力隊を育てる会
雑 収 入	100,300	10,345	-89,955	寄付10,000、預金利息345
繰 越 金	1,894,526	1,894,526	0	
合 計	3,474,826	3,374,871	-99,955	

< 支 出 >

項 目	予 算(A)	決 算(B)	増 減(B-A)	適 要
1. 事務局費	240,000	215,388	-24,612	
通 信 費	60,000	45,504	-14,496	総会案内、請求書発送,他
印 刷 費	40,000	79,394	39,394	総会資料、コピー代,他
会 議 費	50,000	56,562	6,562	理事会、総会
消 耗 品 費	60,000	23,928	-36,072	封筒、文房具、振込手数料,他
負 担 金	10,000	10,000	0	(社)協力隊を育てる会年会費
旅 費	20,000	0	-20,000	
2. 事業費	2,472,000	1,671,580	-800,420	
クロスロード月刊誌送付	252,000	199,040	-52,960	1,810冊X120円、カレンダー同封料
出発隊員壮行会	300,000	24,000	-276,000	
帰国隊員支援	50,000	35,918	-14,082	
国際協力講演会	30,000	4,814	-25,186	通信費
留守家族懇談会	10,000	0	-10,000	
協力隊OBと留学生が先生	350,000	350,000	0	実行委員会負担金
派遣隊員への支援	300,000	40,885	-259,115	グラフかごしま・ナウ 送料
広報活動	380,000	151,763	-228,237	H/P、50周年事業、カレンダー、講演
会報発行	250,000	95,160	-154,840	編集・印刷費、送料
青少年国際協力体験事業	200,000	200,000	0	実行委員会負担金
国際協力支援事業	350,000	0	-350,000	
協力隊発足50周年記念	500,000	570,000	70,000	記念誌発行、新聞広告
予備費	262,826	0	-262,826	
合 計	2,974,826	1,886,968	-1,087,858	

(次年度繰越) 3,374,871 - 1,886,968 = 1,487,903

貸借対照表

資産の部		負債の部	
普通預金	1,487,903	純資産	1,487,903

第3号議案 平成28年度事業計画

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1. 帰国隊員への進路支援

- a) 鹿児島県に帰国隊員特別枠・優遇制度採用等の要請
- b) 民間企業求人先開拓と JICA 民間連携の活用の推進
- c) 市町村へ帰国隊員採用との要請
- d) 出発・帰国隊員の知事表敬同行
- e) 協力隊事務局、ハローワークとの連携による情報提供
- f) 進路相談カウンセラーによる進路相談と求人情報の提供
- g) 県内企業求人・進学など進路に関する情報収集・提供
- h) 本会会員企業・団体、帰国隊員勤務先等よりの情報収集・提供

2. 現職派遣の推進

- a) 職員現職派遣条例未制定自治体に条例制定のお願い
- b) 職員現職派遣条例制定済自治体職員への制度広報と現職派遣のお願い
- c) 県教育委員会に「教員特別参加制度」での推薦枠拡大のお願い
- d) 民間企業・団体への現職派遣及び民間連携制度の広報と活用の呼びかけ
- e) 募集説明会の参集者に対しする現職派遣制度の広報
- f) 現職参加制度活用希望企業・団体へのアドバイス

3. 協力隊事業の広報並びに国際性豊かな青少年の育成

- a) 「協力隊OBと留学生が先生」教育プログラムの実施
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会との共催)
①県下小中校で40回実施 ②派遣講師研修会の実施 5月31日
- b) 第25回鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会との共催)
 - ・派遣地 — ラオス(ビエンチャン、ポンミー村)
 - ・期間 — 平成28年7月24日～7月31日(7泊8日)
 - ・派遣人数 — 14名(中学生5名、高校生9名)、同行者6名(内マスコミ2名)
 - ・事前研修 — 1回目－6月12日、2回目－7月1日～2日(1泊2日)
 - ・内容 — ビエンチャン県でのホームステイ(4泊)、農作業体験・協力隊員の活動現場2か所訪問、地元学生との交流
 - ・共催 — 鹿児島市、枕崎市、霧島市、南さつま市、南九州市、鹿屋市
 - ・協賛 — 県内企業14社
 - ・活動報告 — 報告会の開催、新聞・テレビでの報道、報告書作成・配布
- c) 国際協力講演会開催
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島市国際交流財団との共催)

- ・時 期 — 平成29年2月
- ・内 容 — 講演と青年海外協力隊員の活動報告

- d) 青年海外協力隊募集説明会への協力
春募集説明会2回、秋募集説明会2回出席
- e) ボランティア事業（協力隊、シニア）養成講座への協力 —
- f) ホームページの <http://www.kagojocv.net> の充実

4. 派遣中青年海外協力隊員・シニア隊員・日系青年ボランティアへの支援

- a) 月刊誌「グラフかごしま」・「かごしまナウ」の送付
- b) 壮行会の開催 — 年4回
- c) ボランティア家族連絡会の開催 平成29年2月 JICA、協力隊OB会との共催
- d) 知事表敬への同行 — 年4回

5. 組織強化及び会員サービス

- a) 月刊誌「クロスロード」及び協力隊カレンダーの送付
- b) 会報「積乱雲」の発行及び送付
- c) 留守家族対象の「視察の旅」への協力及び情報提供
- d) 会員増強 — 留守家族、民間企業、各種団体および個人への加入の呼びかけ

6. 国際協力支援及び広報活動

- a) 県内各地での帰国隊員報告会の実施（協力隊OB会との共催）
- b) 「小さなハートプロジェクト」の実施
本県出身者竹原由美子（エルサルバドル、助産師）チャラテナンゴ県ヒロン地区に衛生面改善の為にトイレタンク・フィルター建設を支援
- c) 県民の「国際支援・協力への思い」橋渡し支援
- d) 国際交流・協カイベントへの参加ーパネル展示、相談コーナーの設置
- e) マスコミへの取材協力
- f) 講師派遣 — 自治体、高校、大学、各種団体、企業等

7. 各種機関・団体との連携

鹿児島県、JICA 九州、青年海外協力隊OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会、(公財)鹿児島市国際交流財団、鹿児島国際交流協会センター（KAPIC）他各種団体との連携

8. 会議開催及び行事参加

- a) 通常総会・理事会の開催
通常総会 — 平成28年6月21日
理事会 — 第1回 平成28年6月21日、 第2回 12月
- b) 各種会議、行事への参加
- c) 一般社団法人協力隊を育てる会会議への参加

第4号議案 平成28年度予算

(平成28年 4月 1日 - 平成29年 3月31日)

< 収入 >

(単位円)

項 目	予 算	前年度予算	対前年増減	適 要
会 費	1,400,000	1,400,000	0	法人会員106口×10,000 個人会員68口×5,000
助 成 金	80,000	80,000	0	(社)協力隊を育てる会
雑 収 入	300	100,300	-100,000	預金利息 300
繰 越 金	1,487,858	1,894,526	-406,668	
合 計	2,968,158	3,474,826	-506,668	

< 支 出 >

項 目	予 算	前年度予算	対前年増減	適 要
1. 事務局費	240,000	240,000	0	
通信費	60,000	60,000	0	総会案内、請求書発送,他
印刷費	40,000	40,000	0	総会資料、コピー代,他
会議費	50,000	50,000	0	
消耗品費	60,000	60,000	0	封筒、文房具、振込手数料,他
負担金	10,000	10,000	0	(社)協力隊を育てる会年会費
旅 費	20,000	20,000	0	
2. 事業費	2,092,000	2,972,000	-880,000	
クロスロード月刊誌送付	252,000	252,000	0	2000冊X120円、カレンダー送付手数料
出発隊員壮行会	100,000	300,000	-200,000	負担金
帰国隊員支援	50,000	50,000	0	
国際協力講演会	30,000	30,000	0	通信費
留守家族懇談会	10,000	10,000	0	
協力隊OBと留学生が先生	350,000	350,000	0	実行委員会負担金
派遣隊員支援	300,000	300,000	0	グラフかごしま・ナウ 送付
広報活動	250,000	380,000	-130,000	HP、パネル展、カレンダー、帰国報告
会報発行	250,000	250,000	0	印刷費・送料
青少年国際協力体験事業	200,000	200,000	0	実行委員会負担金
国際協力支援事業	300,000	350,000	-50,000	小さなハート(エルサルバドル)他
協力隊発足50周年記念	0	500,000	-500,000	
予備費	636,158	262,826	373,332	
合 計	2,968,158	3,474,826	-506,668	

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会役員

平成28年7月1日～平成30年6月30日

役員名	氏名	現役職名
顧問	伊藤 祐一郎	鹿児島県 知事
〃	前田 芳實	鹿児島大学 学長
〃	森 博幸	鹿児島市 市長
〃	岩崎 芳太郎	鹿児島商工会議所 会頭
〃	井上 晃男	鹿児島大学名誉教授 前会長
会長	衛藤 威臣	鹿児島大学名誉教授
副会長	椿 哲哉	(公財)鹿児島県国際交流協会 専務理事
理事	稲葉 直寿	鹿児島相互信用金庫 理事長
〃	岩元 純吉	(株)山形屋 代表取締役会長
〃	海江田 順三郎	高島屋開発(株) 相談役
〃	上村 基宏	(株)鹿児島銀行 頭取
〃	岸 尾隆	鹿児島県市長会 事務局長
〃	小正 芳史	鹿児島県中小企業団体中央会 会長
〃	坂上 省悟	鹿児島県町村会 事務局長
〃	逆瀬川 尚文	(株)南日本新聞社 社長
〃	志賀 啓一	志学館大学 理事長
〃	★吉村 博幸	鹿児島県国際交流課 課長
〃	山元 浩義	川内市商工会議所 会頭
〃	坪水 徳郎	鹿屋商工会議所 会頭
〃	永山 在紀	南国殖産(株) 社長
〃	中村 耕治	(株)南日本放送 社長
〃	原口 泉	鹿児島県立図書館 館長
〃	東 紘一郎	(株)ヒガシマル 社長
〃	南 徹	南アカデミーiBS外語学院 院長
〃	森 俊英	(株)南日本銀行 頭取
〃	安 楽大	(株)トータルコミュニケーションサービス 社長
〃	★古田 宣稔	青年海外協力隊鹿児島県OB会 会長
〃	桑山 昌洋	青年海外協力隊鹿児島県OB会 顧問
兼事務局長	弓場 秋信	青年海外協力隊カウンセラー, 弓場貿易(株) 社長
監事	橋口 和典	坂元醸造(株) 研究開発部長
〃	湯田 照廣	湯田自動車整備工場(有) 社長

★ 異動に伴う新役員



Be Global ～国際人として活躍するために～

平成 28 年 3 月 27 日(日)鹿児島市福祉プラザにおいて“Be Global～国際人として活躍するために～”と題して国際協力講演会が開催され、121 名の市民が参加しました。

第 1 部では青年海外協力隊帰国隊員の坂元絵理さん(平成 23 年 4 次隊 ボリビア 保健師)による活動報告が行われました。現地では保健所に派遣され、帰国後も継続できるような活動の取り組みに心がけ、デイサービスの充実やヘルパーサービスの支援などに尽力されました。隊員だからこそ出来る活動の 1 つとして坂元さんの考案で始まった日系・非日系人のデイサービスを通じた交流会は現在も続いているようで、大変嬉しく思うと語っていました。また、活動を通して地域社会の繋がりの大切さが分かり、住民が手を取り合って生活している温かいボリビアの人たちに心を動かされたとのことでした。

第 2 部では女性のための平和親善大使(WFWP：世界女性平和/国連)、キャスター、作家とマルチに活躍されているコロンビア出身のニア・ライト氏による基調講演がありました。彼女自身の経験を通して、「リーダーシップを発揮することや国を超えてボランティア活動をすることで新たな視点が見つかるはず」と、来場者へアドバイスされました。また「親切心を持ち、知性を養い、コミュニケーション能力を高め、人へ与えることは次世代の子ども達の未来へ貢献できる」と熱いメッセージが送られました。

第 3 部では帰国隊員の桑山大さん(平成 24 年 3 次隊 モンゴル 体育)、永野田彩さん(平成 21 年度 2 次隊 エルサルバドル 理数科教師)、ニア・ライト氏他 3 名を交えパネルディスカッションが行われました。特に外国で活動するにあたり、言葉の壁や失敗をどのように乗り越えたかに焦点を当てた話となりました。桑山さんの赴任 1 年目は言葉が分からず苦労しましたが、体育隊員ということで体を動かしてコミュニケーションを取ることに心がけたようです。また子ども達が語学の先生となったことが習得につながったようです。永野田さんは主に中学校で理科教育に従事し、実験を交えた授業に努めました。まずは言葉の要らないポスター掲示から教育活動を始めたようです。「言葉には苦労したが、分からないときでも会話の輪の中に入り、コミュニケーションを取りながら自分の姿勢も貫くと肩の力が抜けた」と自身の経験にもとづき話されました。

海外で活躍している方々の体験や考えに触れたことで、今後ますます世界に飛び出す人材が増えることを期待します。



坂元絵理隊員による活動報告



パネルディスカッションの様子

出発隊員紹介

青年海外協力隊

平成27年度4次隊



桐野智美

- ・ガーナ
- ・栄養士

現地の人々と協力して、ガーナ北部の栄養問題の改善に少しでも貢献できればと考えています。憧れの地アフリカでの2年間、何でもチャレンジしてがんばります。



竹下晴子

- ・ケニア
- ・栄養士

一人でも多くの方が栄養バランスの良い食事が取れるよう、現地に合う方法を検討しながら活動したいです。そして、私自身も成長し帰国できるよう、楽しみながら頑張ります

平成28年度1次隊



重盛洋志

- ・ドミニカ共和国
- ・バスケットボール

たった一度きりの人生！ドミニカの子どもたちにバスケットボールを通してたくさんの笑顔を見せてきます。向き・不向きではなく“前向きに”活動してきます。



池林理恵

- ・ドミニカ共和国
- ・小学校体育

どんなことが待っているのかわくわくしています。目の前の事ときちんと向き合い、任国の様子を自分の肌で感じ、1つでも多くのことを吸収して戻りたいと思います。



勝保義

- ・マダガスカル
- ・青少年活動

マダガスカルで何ができるだろうか？「きっと何もできないだろうけど、きっと何かできるはず」。自分ができ、すべきこと、もとめられること、したいこと、考えて一つ一つ実践していきたいです。

シニアボランティア

平成28年度1次隊



松田宗之

- ・フィジー
- ・水産開発

60才定年を迎えてすぐの派遣となりました。「第二の人生は海外で」の夢が実現しそうです。大学から退職まで水産に携わってきましたので、その経験を生かし漁業者の所得向上を目指します。

日系社会青年ボランティア



渡部明子

- ・アルゼンチン
- ・日系日本語学校教師

日系社会と日本を繋ぎ、日系社会のこれからは少しでも役立つよう頑張りたいです。また、現地で様々なことに積極的に取り組み学ぶことで私自身も成長していけたらと考えています。

日系社会シニアボランティア



岩永幸夫

- ・ボルビア
- ・高齢者介護

日系シニアボランティアの高齢者介護として赴任する事になりました。日系社会の一世・二世の方々のお話を聞かせて頂くのが楽しみです。そして多くの事を学んで参りたいと思います。週末には特技の剣道を現地の小学生に教えたいと思っています。

会員募集中です。

1人の多くの人々の応援が、海を越えた若者たちを勇気づけ、そのエネルギーが地球中に広がります。

年会費：① 個人会員：5,000円/口 ② 特別会員：10,000円/口

振込先：鹿児島銀行卸本町支店（普）829067

名義人：鹿児島県青年海外協力隊を支援する会 会長 衛藤威臣

なお、会員みなさまには、月刊誌「クロスロード」が送付されます。



編集後記

先日、平成28年度一次隊を含む6名の JICA ボランティアが派遣前の県知事表敬訪問を行いました。今回は青年海外協力隊員、シニアボランティア、日系社会青年ボランティアおよび日系社会シニアボランティアも含まれ、すべての JICA ボランティアが一度に出発することは鹿児島では過去に例がなく、ボランティアの多様性に改めて気づかされました。本号にて各隊員の抱負を紹介していますのでぜひご覧ください。